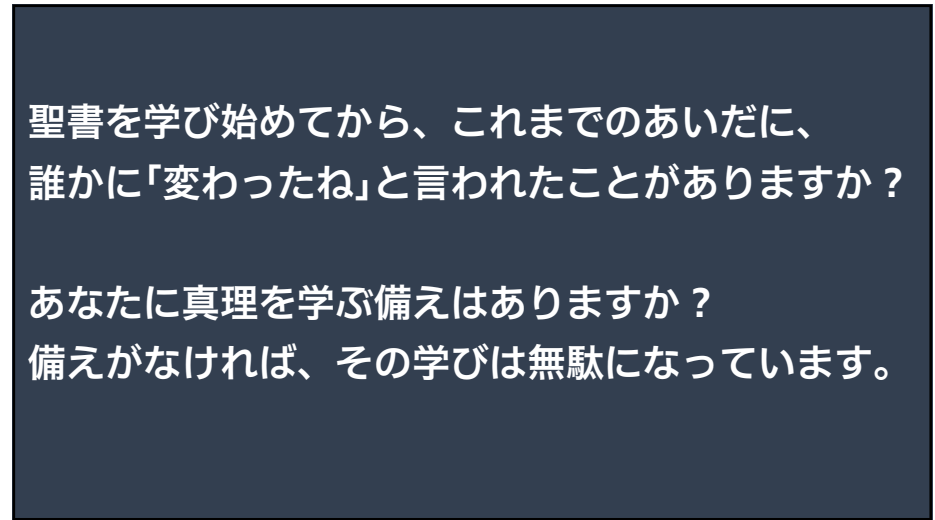
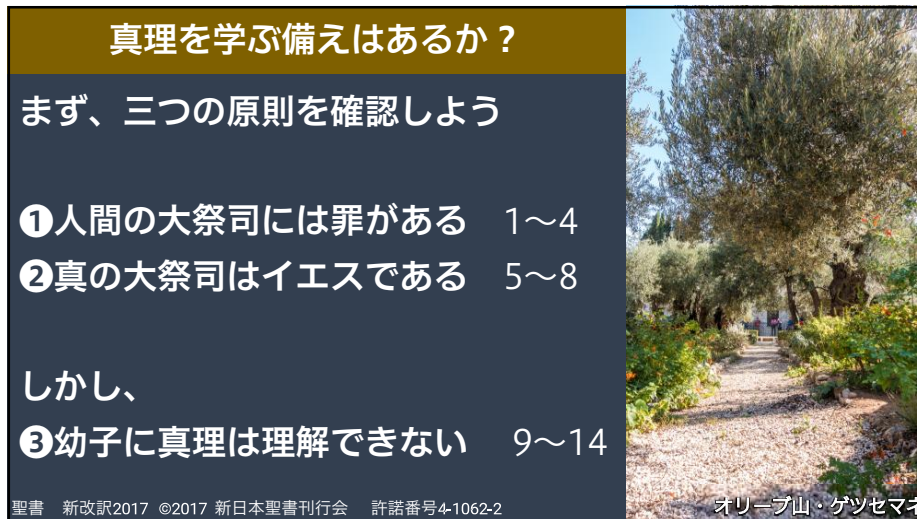




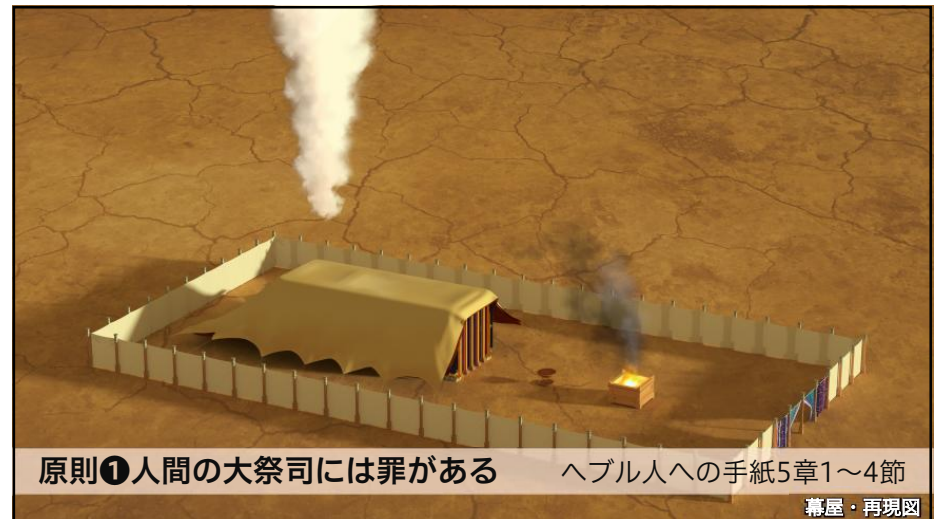
3



4



5



6

①人間の祭司 大祭司の任命 ヘブル5:1

大祭司はみな、人々の中から選ばれ、人々のために神に仕えるように、すなわち、ささげ物といけにえを罪のために献げるように、任命されています。

【律法の定める大祭司】

- ・アロンの系譜から選出
- ・神とイスラエルの間をとりなす
- ・幕屋(神殿)で神への動物の犠牲を献げる



大祭司の装束

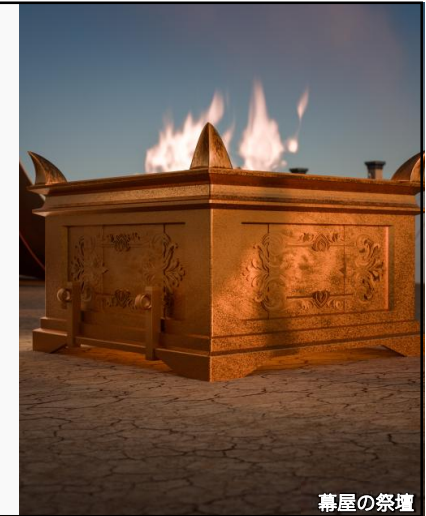
7

①人間の祭司 大祭司の罪 5:2

大祭司は自分自身も弱さ*を身にまわっているため、無知で迷っている人々に優しく接することができます。

*“病気、病” = 死にいたる病 = 罪

- 大祭司も罪人の一人であるため、同じ罪人に同情することができます。



幕屋の祭壇

8

①人間の祭司 大祭司の栄誉 5:3~4

また、その弱さのゆえに、民のためだけでなく、自分のためにも、罪のゆえにささげ物を献げなければなりません。

また、この栄誉は自分で得るのではなく、アロンがそうであったように、神に召されて受けるのです。

- 大祭司自身にも贖罪の犠牲が必要。
- 大祭司は、主の召命を受けて任命される。



幕屋の香壇

9

①人間の祭司には罪がある

- 大祭司は、主が任命された。
- 人間の祭司には罪がある。
- 人間の祭司にも罪の贖いが必要。

10



11

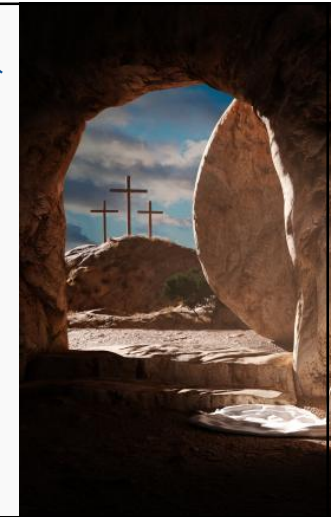
②真実の大祭司 神による任命 5:5

同様にキリストも、大祭司となる栄誉を自分で得たのではなく、「あなたはわたしの子。わたしが今日、あなたを生んだ*」と語りかけた方が、それをお与えになったのです。

*詩編2:8…メシア預言

使徒13:33…イエスの復活の預言と解説

■イエスを真の大祭司に任命したのも神。



12

②真実の大祭司 とこしえの祭司 5:6

別の箇所でも、「あなたは、メルキゼデク*の例に倣い、とこしえに祭司である*」と言っておられるとおりです。

*アブラハムを祝福したサレムの王・祭司

*詩編110:4…メシア預言

■メルキゼデグは、メシアを示す影

→詳しくは7章で!!



13

②真実の大祭司 キリストの祈り 5:7

キリストは、肉体をもって生きている間、自分を死から救い出すことができる方に向かって、大きな叫び声と涙をもって祈りと願いをささげ、その敬虔のゆえに聞き入れられました。

【受難に際してのキリストの祈り】

- ・弟子たちの信仰がなくならないように。
- ・御心のままに。神の怒りの杯を飲み干す。
- ・彼らに罪を負わせないでください。



14

② 眞実の大祭司 神なる大祭司 5:8~10

キリストは御子であられるのに、お受けになった様々な苦しみによって従順を学び、完全な者とされ、ご自分に従うすべての人にとって永遠の救いの源となり、メルキゼデクの例に倣い、神によって大祭司と呼ばれました。

- 人となられた神の子イエス・キリストは、十字架で罪の贖いを成し遂げられ、復活され、天に昇り、大祭司となられた。



キリストの昇天

15

② 眞実の大祭司はイエスである

- 眞の大祭司イエスは、神に任命された。
- イエスは、永遠に祭司である。
- 眞実の大祭司イエスは、神と人を完全にとりなされる。

16



原則③ 幼子に眞理は理解できない ヘブル人への手紙5章9~14節

オリーブ山・ゲツセマネ

17

③ 幼子には理解できない 靈的現実 5:9

このメルキゼデクについて、私たちに話すことがたくさんありますが、説き明かすことは困難です。あなたがたが、聞くことに対して鈍くなっている*からです。

- *話しても、聞く備えができていない。
 - ➔宛先の教会の人々の靈的状況
- 神と人に、聞く訓練ができていますか？



塞がれた黄金門

18

③ 幼子には理解できない 霊的後退 5:12

あなたがたは、年数からすれば教師になっていなければならないにもかかわらず、神が告げたことばの初歩を、もう一度だれかに教えてもらう必要があります。あなたがたは固い食物ではなく、乳が必要になっています。

- 信仰が後退する時、基本的な教えさえ、揺らいでしまう。



19

③ 幼子には理解できない 霊的幼子 5:13

乳を飲んでいる者はみな、義の教えに通じてはいません。幼子なのです。

固い食物は、善と悪を見分ける感覚を経験によって訓練された大人のものです。

- 固い食物を食べられる → 御言葉の適用力
- 学んでは、適用し、主に試される。
その繰り返しの訓練の結果として、
霊的に成長させられていく。



使徒パウロの肖像

20

③ 幼子に真理は理解できない

- メルキゼデグは、真の大祭司を示す影。しかし、
- 霊的幼子には、大祭司の真理は理解できない。
- 霊的訓練を経て、適用力をもった信仰者へと成長させられていく必要がある。

21



まとめと適用

真理を学ぶ備えはあるか？

オリーブ山・ゲツセマネ

22

まとめ イエスこそ 私たちの大祭司

- ① 人間の祭司には罪がある
- ② 真の祭司はイエスである
- ③ しかし、幼子には祭司の真理は理解できない

私たちに、真理を学ぶ備えはあるだろうか？

23

適用 真理を学ぶ備えとは？

「乳を飲んでいる者はみな、義の教えに通じてはいません。幼子なのです。固い食物は、善と悪を見分ける感覚を経験によって訓練された大人のもので。ヘブル5:13」

- ① 義の教えに通じること
- ② 経験によって訓練されること
- ③ 善と悪を見分ける感覚を身につけること

24

適用 ①義の教えに通じているか？

「神はそのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今はどこでも、すべての人に悔い改めを命じておられます。

なぜなら、神は日を定めて、お立てになった一人の方により、**義**をもってこの世界をさばこうとしておられるからです。神はこの方を死者の中からよみがえらせて、その確証をすべての人にお与えになったのです。使徒17:30~31」

- 義の教え → 贖罪の死と復活。再臨と裁き。救いの計画の全貌
- 通じていないとは、体験的に知っていない、適用できないこと。

知識だけで適用のない人は、決して義の教えに通じていない

25

適用 ②経験によって訓練されているか？

「わが子よ、主の懲らしめを拒むな。その叱責を嫌うな。父がいとしい子を叱るように、主は愛する者を叱る。箴3:11~12」

- 訓練され、信仰が成長するほど、罪の自覚は強められる。
- 罪の自覚が強まるほど、主の愛を深く知らされる。

「義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。マタイ5:10」

- 神の義に従うゆえの迫害は、訓練による信仰の成長の実。

打ち砕かれた経験をどれだけ積み重ねてきているか？

26

適用 ③善悪を見分ける感覚を身につけているか？

「この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。ロマ 12:2」

- 福音を信じた瞬間、主の目に新生し、聖霊が内住されている。自分の罪を自覚し、主に委ねるなら、聖霊が変えてくださる。
- 御言葉の学びと適用、失敗と悔い改めの繰り返しの中で、私たちは、善悪を見分けられるように成長させられていく。

27

適用 私たちに求められている信仰の成長

「あなたがたが集まる時には、それぞれが賛美したり、教えたり、啓示を告げたり、異言を話したり、解き明かしたりすることができます。そのすべてのことを、**成長**に役立てるためにしなさい。
| コリ14:26」

- どれだけ熱心に礼拝しても、聖書を学んで知識を身につけても、自分自身の信仰が成長していないのなら、意味がない。

私の信仰は、日々、成長しているのか？

28

適用 自分自身の成長の実を確認しよう

- 成長しているのか？ 自分で判断するのは難しい。過小評価して卑下したり、過大評価で傲慢になったり。
- 成長を判断できる一つの実は、
 - 最も身近な人との関係が変化してきているのか？
 - 誰かに「変わったね」と言われることがあるか？
- 大前提として、信仰の家族の中に身を置いていること!!

29

★ 真理を学ぶ備えはあるか？ ★

- 自分自身の信仰が成長していかなければ、本当の意味で、聖書の真理を知ることはできない。
- 学んだ御言葉を、日々の中で適用しているか？
失敗して、打ち砕かれては悔い改めて、主に立ち返っているか。
- 最も身近な人との関係性が変わってきているか？
「変わったね」と言ってくれる誰かがいるか？

主の真理を学ぶ備えを 日々重ねて行こう!!

30

てん どう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな し じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

しゅ あい こ くんれん
主は、愛する子を訓練されます。

わたし ひび う くだ く あらた しゅ したが あゆ
私たちは、日々、打ち砕かれつつ、悔い改めて主に従い、歩みます。

せいれい たす わたし せいちょう もち
ご聖霊の助けによって、私たちを成長させ、用いてください。

かんしゃ しゅ な いの
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」